まちづくり瓦版

～うつくしま、まちづくり推進レポート～

Vol.９６　令和８年１１月１３日発行

福島県復興祈念公園が開園しました！

令和8年5月2日、双葉町・浪江町にまたがる「福島県復興祈念公園」が開園しました。復興祈念公園は、犠牲者への追悼と鎮魂、震災の記憶と教訓の後世への伝承とともに、これからも続く復興の歩みと協調しつつ、その姿を国内外に発信し続けることを目的に、福島県と国との連携のもと整備した公園です。

▼献花式の様子



▼復興祈念公園全景



両竹地区では、継続的に草花の植付けを行うワークショップを開催しております。
ぜひ、参加してください！▶

インフラ施設を巡るモニターツアーを開催しました！

福島県では、ダムや橋、道路などの社会基盤施設を観光資源として活用する「ふくしまインフラツーリズム」を推進しています。実際に施設を訪れ、普段は見ることのできない施設内部を見学したり、インフラが地域の暮らしをどのように支えているのかを学ぶことができます。福島県は今年、県政150周年という大きな節目を迎えました。そこで、県内のインフラ施設が県政の発展や未曾有の大災害からの復興のために果たしてきた役割を県民の皆さんに知っていただくため、普段は入れないダム内部などを巡るモニターツアーを8月、9月に実施しました。今後、モニターツアーのアンケート結果を受けて、新たなモデルコースを年度内に公開する予定です。

▼ツアーの様子



公園に導入されたモビリティを利用する来園者（福島県復興祈念公園・双葉町、浪江町）



▶ライトアップされた監査廊（小玉ダム・いわき市）

参加者の声

- 震災とその後の復興についてとても勉強になった。当時の大変さがわかった。
- もっとたくさんの人にインフラ施設などの魅力を知ってもらいたい。

都市整備等を担う行政職員を対象とした研修会「まちづくり推進交流会」を開催しました！

まちづくりに関する課題を解決し、効果的に魅力的なまちづくりを推進していくため、都市整備等を担う自治体職員を対象に、まちづくりの取組事例等を学ぶ研修会「まちづくり推進交流会」を、令和8年8月4日に、白河市立図書館会議室で開催しました。

特別講演として山形市より講師をお招きし、まちなか駐車場適正化計画について発表いただいたほか、白河市・会津若松市・田村市・喜多方市からの事例発表を行いました。さらに、白河駅周辺に整備した公共施設等を、実際に見て体感する「まちあるき（現地視察）」を昨年に引き続き取り入れ、にぎわいのあるまちづくりに向けて、好事例の共有を図りました。



◀発表の様子

【発表内容】

特別講演

- *○ 山形市まちなか駐車場適正化計画について（山形県山形市）*

事例発表

- *○ 白河市（暮らし・にぎわい再生事業の取り組み）*
- *○ 会津若松市（鶴ヶ城周辺地区（都市構造再編集中支援事業））*
- *○ 田村市（都市構造再編集中支援事業の概要について）*
- *○ 喜多方市（都市構造再編集中支援事業（塩川駅周辺地区））*



◀複合施設利用者や中心市街来訪者向けの駐車場
◀立体駐車場の整備



▶▶▶中心市街地の居住人口増加を図る
▶▶中町地所跡地住宅整備
▶4階建ての住宅20戸

✎ 編集後記 ✎

令和8年5月には、福島県復興祈念公園が開園しました。東日本大震災・原子力災害の記憶と教訓を後世に伝えるとともに、復興への歩みを国内外に発信する大切な場所です。公園を訪れることで、震災からの復興の歩みや現在の浜通りの姿を実際に感じていただければと思います。

また、浜通り・中通り・会津の3地域でモニターツアーを実施し、インフラ施設と建築物が持つそれぞれの魅力を実際に感じていただく機会となりました。今後も、多くの方に福島の「今」を知っていただく機会をつくり、交流人口の拡大につなげていければと思います。

ふくしまインフラツーリズム
INFRA TOURISM IN FUKUSHIMA
https://www.pref.fukushima.lg.jp/site/infra/

県内のインフラ施設については、こちらのポータルサイトで紹介していますので、ぜひご覧ください！

【まちづくり瓦版発行元】
福島県土木部まちづくり推進課
TEL　024－521－7511
FAX　024－521－7956
e-mail
machizukuri@pref.fukushima.lg.jp
URL
http://www.pref.fukushima.jp/machi/